

10期 再発見！何でも見てやろう

天理市探訪 天理大学・天理参考館



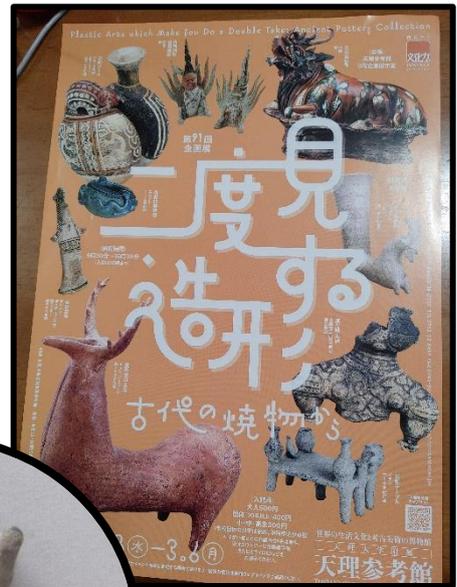
令和5年1月12日(木), 18日(水) 2班
天理大学附属天理参考館は、奈良県天理市にある民俗学・考古学系の博物館。主に世界各地の生活文化資料・考古美術資料を収集・研究・展示するほか、所在地に広がる布留遺跡の発掘調査を行う博物館法における博物館相当施設です。

1930年(昭和5年)4月25日から4月27日にかけて、天理中学校にて「支那風俗展覧会」を開催。その後展示した資料を天理外国語学校本館に移し、「海外事情参考品室」としたのが天理参考館の起源です。その後、1955年(昭和30年)天理教の巨大

建築「おやさとやかた」の東左第三棟4・5階への移転等を経て、2001年(平成13年)この地に移転し現在に至ります。

館内は地上3階建てで、地下1階の4階層にわたっており、1階・2階に「世界の生活文化」コーナー、3階に「世界の考古美術」コーナーがそれぞれ設けられています。展示されている物品には文字通り世界各国から集められたものが多くを占め、そのコレクションはアイヌ文化からインド、ボルネオ、パプアニューギニアにまで至ります。

天理参考館展示「二度見する造形」



午後から天理教教会本部の見学



天理教本部・神殿



*参考館での数多くの展示品をじっくりと時間をかけて鑑賞され良かったと言われていた。又天理大学学生食堂での昼食は安くて旨いと言う声が多かった。天理教本部の見学、参拝は、めったに個人では絶対行かない所、来てよかったと大変好評でした。帰りの天理本通り商店街ではお買い物も楽しまれた。 「今日の一言」 CA 林純二